

# 【ヒルクライムin蔵王エコーライン 2026 大会規則書】

## <競技規則>

### 【ヒルクライムin蔵王エコーライン 2026 大会規則書】

大会開催中において、規則を厳守していただけない場合は、この大会規則書が以後の大会参加をお断りさせていただく根拠にもなりますので、参加者は無論、付き添いの方また、未成年者の参加の場合は親権者様も熟読して本人へ伝えてください。よろしくお願ひいたします。

#### ●エントリーについて

本大会の参加募集は、スポーツエントリーを使用しての募集になります。

本大会へのご参加は、参加者ご自身の判断と責任において参加してください。

大会要項、募集要項を熟読し、内容を把握したうえでご参加ください。

本大会における個人情報保護は、スポーツエントリーの個人情報保護方針に基づいて取り扱われます。

参加資格は、コースを制限時間内に完走できる自信のある中学生以上の方で、蔵王自然環境保全に努めてくださる方。

未成年者は、保護者の承諾を必要とし、出来る限り参加者と同伴をお願いします。

## <参加できる車種規定>

#### ●使用可能なバイク

ロードレーサー・MTB・E-BIKE・クロスバイクに限ります。

※リカンベント・タンデム・ピストバイクの参加は、認めません。

#### ●使用可能ハンドル

ドロップハンドル・フラットバー(バーエンド 15cm以内)・ライザーバー(バーエンド 15cm以内)

上記以外のハンドルは認めない。

※ブルホーン・DH バー・スピナッチ・クリップオン・そのほかブレーキ操作の妨げになるものは認めません。

## <車検>

#### ●本大会に参加される方は、参加通知書と一緒にお送りした自転車検査証を事前に最寄りの自転車専門店にて、自転車検査(車検)を受けてくださいますようお願いいたします。

参加前に点検を受けることにより、事故につながる不具合を未然に防止することを目的とします。

また、都合により事前に点検を受けられない場合は大会前日受付でメカニックサービスがありますので必ず点検を受けてください。 点検は有料です。1台￥2000です。

## <そのほか重要！！>

#### ●バイクのフレームやヘルメットにカメラを取り付け動画撮影することは、他の参加者へのプライバシーの侵害にもなりかねますのでカメラを取り付けての参加走行は禁止とします。

なお、カメラ等の取り付け等が発覚した場合は、失格はもとより撮影動画を主催者の前で消していただき次大会からの参加をお断りさせて頂きます。

#### ●上記以外の走行に支障ができる改造も認めません。

#### ●大会メイン会場とフニッシュエリアや駐車場および周辺においてのレース走行や道交法無視の走行は危険ですので絶対にしないでください。

#### ●参加費(エントリーフィー)は、カテゴリーその他、諸般の事情により変更される場合が有ります。

#### ●参加締め切りは、大会開催日2週間前です。それまでにご入金が確認できない場合は、期限切れとなります。

#### ●参加費入金後のキャンセルは返金できませんのでご注意ください。

また、いかなる条件によって大会が中止に場合は、参加賞をお送りして大会は終了となります。

- 参加確定後は大会ホームページの参加者リストに氏名が掲載されます。
  - また、参加確定後に選手の変更をする場合は、大会事務局へ選手の変更連絡をしてください。
  - 大会事務局へ連絡をしないで出場した場合は失格となります。
- エントリー時誓約した大会規則書による改造の範囲を超える改造があった場合も失格となります。
  - 大会運営については、主催者及び本大会スタッフが一切の損害賠償の責任を免除されている事を了承しなければならない。  
また、大会期間中、メイン会場とその他大会会場および周辺において、本大会規則書に定める厳守行為等を守らず、スタッフの指示にも従わず、危険な状況を引き起こし、公序良俗に反する行為をしたときは、失格とします。
  - 表彰は、全カテゴリー(総合)1位～3位と各カテゴリー別1位～3位までの表彰となります。
  - 参加者の個人情報は、主に参加者の保険補償の基礎情報や、事故、ケガ等を被った時の救急医療情報として使用します。また、大会及び自転車振興ため、大会資料として参加者の写真および氏名等がメディア(TV・新聞・雑誌・その他)に掲載されることもご承知ください。
  - 大会当日に関して発生する以下の事態は、大会主催者及び大会関係者管理を超えた不可抗力であるので大会が中止された場合は、保険の適用を含む全てにおいて免責です。  
また、この場合においても、参加費の返金はいたしません。
    - (1) 大会運営に支障を来す地震・火山活動の発生や天候等の急変
    - (2) 道路管理者からの通行禁止命令
    - (3) 市域管理者からの集会禁止命令
    - (4) 原子力事故危険、環境汚染事故危険等の災害発令
    - (5) 緊急事態宣言のイベント自粛要請
  - 会場周辺は国定公園の中にあるため環境保全のため、ご自身で出したゴミ類は各自が責任をもって必ず持ち帰り、指定場所以外の喫煙を禁止します。
  - お一人でご参加は、事故やケガ等の場合帰宅できない場合が有るのでなるべく、お二人(付き添い)の方とご参加ください。

## <大会保険について>

- 落車等の事故が発生した場合は、状況に応じて救急車を手配します。
- 保険の補償対象は、参加者本人で大会主催者が加入している傷害保険の対象となり  
傷害保険限度額は 死亡時…300万円 入院時・1日3000円 通院時・1日1500円です。
- 保険の限度額を超えた部分の医療費は、各自のご負担となりますので、ご心配であれば大会前に別途傷害保険へのご加入をお勧めします。
- 補償の範囲は、大会当日のコース内・メイン会場・フィニッシュ会場と主催者指定駐車場内に限ります。
- 上記の範囲外での事故やケガについては保険の対象外となりますのでご注意ください。
- 参加選手は必ず健康保険証をご持参ください。
- 競技中の事故やケガであっても参加登録が完了されていない方、あるいは虚偽の登録をした方に対する保険の対象外となります。

## <レース前日について>

- 大会受付は基本前日になります。  
また、受付後に選手の方に競技説明会を行いますので参加される方は必ず説明会に出席してください。また、お仕事上で前日受付が無理な方は必ず大会事務局まで連絡をしてください。  
大会事務局は連絡をいただいた方のみ当日受付を許可します。
  - 当日、宿泊施設から会場まで移動する場合は一般公道の走行となりますので道路交通法に基づく走行は勿論、法定部品であるライトやリフレクターなどの必要な部品を装着してください。
  - フニッシュエリアは、標高が高く天候状況によっては、気温が非常に低くなることや降雨も予想されますのでフィニッシュ後、身に着ける防寒着、雨具、手袋等のご用意されることをおすすめします。また、スタート前に荷物等を預けてフニッシュエリアで受け取ることもできます。
  - スタート前自転車のチェックや補給食など競技中や下山時に必要な携行品のチェックをしてください。なお、エイドステーションは(給水所)は、一箇所となります。
  - 計測で使用するタグは、ご自身で必ず足首につけてください。また、計測タグはフニッシュエリアでスタッフが回収いたします。
  - 規定通りに計測タグを付けないとタイムが計測できない場合がありますので必ず規定通りに付けてください。なお、計測タグを付けないでスタートした場合は計測ができませんので注意してください。
  - 大会当日は、コースは勿論、会場周辺は交通規制がかかりますので自動車の乗り入れができる場所がありますので規定のスタート時間に間に合わない場合は出走できませんので、事前にルートの確認をしてください。
  - 宿泊施設から集合場所までの自転車移動は公道走行となりますので、道交法に従って左側を走行してください。
  - 参加選手は、午前5時20分までに開会式会場へ集合してください。
  - 荷物等を預ける場合は、5時30分までに選手荷物受取所で荷物預けを済ませてください。  
なお、その場合は事前にフィニッシュエリアへ運搬しますので、運搬希望の選手は専用荷札にご自分のレース NO をご記入の上お預けください。なお、スタート前に運搬車両は、フニッシュエリアに向かいます。
- ※山頂はスタート地点より気温が10度以上低くなる場合があります。寒さ対策を各自行ってください。**
- 受付時にレースNOシール・ヘルメットシール・計測タグ(アンクルバンド)をお渡ししますので、受付横に取り扱い説明ボードがありますので必ず確認をして指定された場所に付けてください。
  - 大会前日及び大会当日は、交通混雑の回避や事故防止のためコース内および会場周辺での練習走行は固く禁止いたします。
  - スタート会場には、クラス別にバイクラックを用意してありますので、ご自分のクラスのバイクラックにバイクを掛けるようにしてください。
  - 大会当日会場周辺の道路は大変混雑しますので。路上駐車はできません。指定された駐車場をご利用ください。
  - レースに使用するコースは、国定公園内ですので高山植物や自然環境保全のため、むやみに道路以外の場所には立ち入らないようご協力をお願いします。

●レースの観戦や応援をする場合は、スタート地点や途中のパーキングまたは、フィニッシュエリアに車で行くことは可能ですが、必ずスタート前に到着をお願いします。  
また、荷物の運搬車両やレース先導車両が追いつく前に各場所へ入ってください。  
なお、その場所からはレース終了後でなければ出ることができませんのでご承知ください。

●大会当日朝、5時の時点でフィニッシュエリア(駒草平)において路面状況や大雨注意報レベル(表面雨量指数基準7程度及び1時間雨量18ミリ程度)強風レベル(13m/s程度)等の悪天候が計測されるなど、主催者が危険と判断する気象条件等が予想される場合は、大会の運営中止をする場合があります。

●宿泊施設のあるエリアは、キャンプ場はありません。駐車場等で車中泊やテント泊は関係当局より厳重に注意を受けていますのでルールを守り、体調管理の観点から宿泊施設のご利用をお勧めします。

※大会事務局では、宿泊を含んだ参加費もありますので大会事務局までお問い合わせください。

#### <レース中について>

●競技中に悪天候や自転車の故障、あるいはご自身の希望によりレースを棄権する場合は、最後尾に選手収容車両が追走していますのでスタッフに申し出てください。  
その場合でも山頂まで上がります。その場合自力(自車)での下山はできません。

●ヘルメットは、(自転車用でSGマーク付き・JCF認定品または、同等品の物)について未装着が確認された場合は、その時点でスタッフが走行停止と同時に失格退場を命じます。

●スタート地点から 6.4Km地点チェックポイント(エイドステーション)までは、道路全幅走行可としますが、6.4Kmを通過したところからは道路の左側走行としますので厳守してください。  
右側は競技中、緊急車両等が走行する場合がありますので緊急車両等の走行時には、ご協力をお願いします。

●前走者を追い越す場合は、後方を確認の上、前走者に声をかけながら右側より追い越してください。

●走行方法については競技中ほかの選手の進路を防ぐ、他の選手を押圧するなどして走行を妨害する、威嚇のための大声を発する行為を禁止します。

●コースは、カーブや急坂、凸凹路面等危険を伴う箇所もあるので、各自注意すると共にスタッフの指示に従って走行してください。

●チェックポイント(エイドステーション)に設定された通過時間を超えた場合は、その場で競技終了となります。

●レース NO を不着用者が確認された場合には、その時点でスタッフが走行停止と同時に失格退場を命じます。また、規定の取り付け以外の付け方(切る・曲げる)が見られた場合でも走行停止と失格退場を命じます。

●制限時間内でも審判スタッフが競技続行不可能と判断した場合は競技を中止させる場合があります。

●最終走行者の後ろに収容車が走行します。

・競技中に事故が発生し場合や、事故を見かけたときは、最寄りの大会スタッフに連絡をしてください。

## <レース～下山について>

- フィニッシュした選手は、エリア内に用意しているバイクラックに自転車を掛けて下山まで待機してください。
- 計測で使用したアンクルバンド(計測タグ)は、フィニッシュエリアでスタッフが回収しますのでお近くの大会スタッフへお渡しください。返却がない場合は実費費用をご負担いただきます。
- 下山時の速度は20Km 以下とします。(先導車あり)。制限速度と車間距離を守って下山してください。
- 10時00分以降にフィニッシュをされた選手及び15歳以下の選手は交通規制並びに安全確保のため収容車両にて下山となります。
- 自力下山をする場合はフィニッシュ後30分以上の休憩を取ってください。
- 下山時が最も事故が発生しやすく大変危険ですので、事故防止の観点から個人で許可なく下山することを禁止します。所定の下山待機場所に集合し、200名程度を1グループとして、グループ毎に誘導車両及びスタッフに従って下山してください。
- 大会中の事故の殆どが、下山時に集中して起こっています。下山走行中の連続したブレーキングと寒さによりブレーキハンドルを握る手が動かなくなることが報告されています。不必要的スピードで走行することは勿論、電子機器等の使用による片手運転は、他の参加者を巻き込む危険走行となりますので絶対にやめてください。  
また、下山途中での写真撮影についても事故防止の観点から禁止いたします。
- 防寒着等の準備(寒さ対策)を必ず行ってください。
- チェックポイントからフィニッシュまでは左車線は、競技中であり登反走行中の選手がいますので下山の場合は道路左車線を走行して車線は、はみ出さないでください。  
**(特にコーナー地点では注意をしてください。)**
- 先頭は、先導車両との車間距離を十分にとり、いつでも止まれる距離を保ち、追突事故が各自で回避できうるようにしてください。
- 下山時において体調不良や握力低下、自転車の故障など、安全に下山ができない状態になった場合は徐々にスピードを落としてコース脇の安全な場所へ待機をして後方から来る選手収容車両に乗って下山してください。
- 会場周辺での移動はスタッフの指示に従ってください。
- 大会前日および大会当日に、大会以外の原因での自転車による事故が発生した場合には、本大会以降の開催が不可能になる場合もあり多くの選手に多大な迷惑を及ぼしますので、事故の無いように参加選手の皆様には十分な注意とご理解ご協力をお願いします。